

## 新型コロナウイルス感染症に対する当院の対応について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、愛知県でも外出自粛要請が出されました。不安に思われている方も多いと拝察します。この様な社会情勢の中でもペットの病気や怪我はいつ起こるかわかりません。大切な命を守るため、当院では以下の対策をもとに、**通常通り診察を行います**。

- 換気、消毒は徹底します。
- 獣医師、看護師は当日朝の体調をチェックします。
- 診察、受付はマスクを着用して対応します。

## 飼い主様へのお願い

- 受付に手指消毒用アルコールを設置します。ご利用ください。
- ご来院は可能な限り、マスクの着用をお願いします。
- 来院時に待合室が混雑している場合は受付後にお車で待つ場合があります。
- 自宅待機の要請を受けた飼い主様は自宅待機が解除されるまで来院をご遠慮ください。

## 診療でよく受ける質問

Q 新型コロナ感染症が落ち着くまで外出を避けたいが、混合ワクチン、狂犬病ワクチンの予防接種の時期がきたのでどうしたら良いか？

A 本来ならば適切な時期にワクチン摂取を実施した方が良いですが、1、2ヶ月遅れても大丈夫です。基本的にワクチンが遅れたことによりワクチンで予防できる病気に感染をしたり、症状が重篤化するリスクはゼロではありませんが、可能性は低いと考えます。

Q フィラリアの予防をしたいが、新型コロナ感染症のため病院に行くのが不安だが、どうしたら良いか？

A フィラリアの予防は愛犬の健康を守るため重要なことです。通常通り、事前に血液検査をさせて頂き、予防薬を処方します。当院でできる限り、消毒や換気の対応、車でお待ち頂くお願いなどは行なっていますが、なるべく混んでいる週末などを避けて、マスク着用の上、ご来院頂ければと思います。

Q 飼い主が新型コロナ感染症になってしまった場合、ペットに感染するのか？

A 感染した犬や猫が数例報告されています。できる限り接触を避けて頂いた方が良いでしょう。現在のところ、人の様に重篤な症状は報告されていません。またペットを介して人に移るとは考えられていません。(2020年4月5日現在)